

石川県における平成20年中の災害及び火災・救急の状況（速報）について

本県における平成20年（1月～12月）の災害及び火災・救急の状況について、各市町及び消防本部からの報告に基づき、以下のとおりとりまとめた。

1. 災害件数及び被害状況について

平成20年の災害は、「浅野川豪雨」を含む「7月大雨」による、局所的かつ短時間の集中豪雨により、浅野川が55年ぶりに氾濫したことによるものが、被害のほとんどを占めており、住家の浸水被害については極めて大きなものとなっている。

《災害件数・被害の状況》

区 分	災 害 件 数 (件)	人的被害		住 家 被 害					非住家 被 害 (棟)	被害総額 (農林・土木施設等) (千円)
		死 者 (人)	負傷者 (人)	全 壊 (棟)	半 壊 (棟)	一部損壊 (棟)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)		
平成20年	12	0	0	2	9	7	511	1,564	391	7,512,192
(うち7月 大雨)	1	0	0	2	9	7	507	1,486	370	6,065,971
平成19年	14	1	338	687	1,740	26,957	14	177	4,565	40,457,258
(うち能登 半島地震)	1	1	338	686	1,740	26,955	-	-	4,477	33,637,162
増 減	▲2	▲1	▲338	▲685	▲1,731	▲26,950	497	1,387	▲4,174	▲32,945,066

注：災害査定等で数値が変更されることがある。

平成20年中の災害件数は12件で、前年（14件）に比べ、2件の減であった。

被害状況のうち、人的被害は、発生しておらず、能登半島地震による前年の死者1人、負傷者338人と比較すると皆減となっている。

住家被害については、全壊が2棟、半壊が9棟、一部損壊が7棟発生しているが、いずれも7月大雨によるものであり、能登半島地震によるものがほとんどを占めていた前年に比べ、大幅な減少となっている。

住家の床上・床下浸水の被害については、7月大雨の被害によるものがほとんどを占めており、床上浸水が511棟、床下浸水が1,564棟となっており、昨年の14棟、177棟と比べ、大幅な増加となっている。

非住家被害の391棟については、うち370棟が7月大雨によるものであり、被害の大半を占めている。

また、農林・土木等の被害総額は、75億1千万円となっており、このうち、7月大雨による被害額は、60億6千万円となっている。

なお、7月大雨では、浅野川上流部の芝原地内において、1時間雨量が138mm（6：30～7：30）、3時間雨量が251mm（5：00～8：00）という、局所的かつ短時間の集中豪雨により、浅野川が55年ぶりに氾濫した。

7月大雨（7/28）以外の主な被害状況は、以下のとおりである。

- ・2月24日の冬季風浪により、能登町で住家床上浸水1棟、住家床下浸水4棟、非住家3棟の被害が発生した。

- ・ 7月8日の梅雨前線豪雨により、住家床上浸水が羽咋市で1棟、中能登町で1棟、住家床下浸水が羽咋市で15棟、志賀町で1棟、中能登町で17棟、非住家被害が金沢市で4棟、羽咋市で5棟、中能登町で2棟発生した。
- ・ 7月27日の突風により、小松市で非住家1棟が倒壊する被害があった。
- ・ 8月15日から16日の豪雨により、七尾市で住家床上浸水1棟、住家床下浸水27棟、非住家3棟の被害が発生した。
- ・ 8月19日の豪雨により、七尾市で住家床下浸水11棟、非住家3棟の被害が発生した。
- ・ 8月28日の豪雨により、金沢市で住家床下浸水3棟の被害が発生した。

《過去10年間の災害件数・被害の状況》

区分	災害 件数 (件)	人的被害		住家被害					非住家 被害 (棟)	被害総額 (農林・土木施設等) (千円)
		死者 (人)	負傷者 (人)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部損壊 (棟)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)		
平成20年	12			2	9	7	511	1,564	391	7,512,192
平成19年	14	1	338	687	1,740	26,957	14	177	4,565	40,457,258
平成18年	14	3	12	2	1	14	13	159	43	9,819,046
平成17年	23	4	17			8	14	113	20	8,410,819
平成16年	22		42	1		72	26	224	195	10,759,604
平成15年	16					8	3	118	13	1,901,388
平成14年	32		2		1	20	8	204	97	7,424,616
平成13年	24	1	128		1	78		43	73	5,603,602
平成12年	16		2			3		33	8	3,565,207
平成11年	21	1	2			21	18	564	5	6,792,048

2. 火災・救急の状況について

(1)火災の状況について

平成20年中の火災は、出火件数344件（前年比：25件減）、建物焼損棟数285棟（前年比：21棟減）、り災世帯数194世帯（前年比：10世帯増）、り災人員564人（前年比：45人増）、死者20人（前年比：5人増）、負傷者48人（前年比：1人増）、損害額7億4,486万円（前年比：4億9,858万円減）、建物焼損床面積11,678㎡（前年比：6,518㎡減）、林野焼損面積791a（前年比：589a増）であった。

《火災の状況》

区分	出火件数 (件)		建物焼損 棟数 (棟)	り災 世帯数 (世帯)	り災 人員 (人)	死者 (人)		負傷者 (人)	損害額 (千円)	建物焼損 床面積 (m2)	林野焼損 面積 (a)
	うち 住宅	うち 住宅									
平成20年	344	126	285	194	564	20	16	48	744,857	11,678	791
平成19年	369	123	306	184	519	15	10	47	1,243,439	18,196	202
増減	▲25	3	▲21	10	45	5	6	1	▲498,582	▲6,518	589

① 出火件数について

平成20年中の出火件数は344件と、前年より25件減少した。火災種別では、建物火災が211件と最も多く、全体の61.3%をしめている。

《過去10年間の火災種別》

(単位：件)

区分	平成 11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
建物 (うち住宅)	226 (130)	217 (90)	228 (105)	246 (138)	197 (109)	232 (121)	225 (117)	231 (133)	224 (123)	211 (126)
林野	24	33	57	34	34	20	19	5	22	14
車両	69	68	48	56	55	37	55	36	48	38
船舶	1	1	2	0	2	0	1	1	2	0
その他	59	105	79	82	68	68	58	49	73	81
合計	379	424	414	418	356	357	358	322	369	344

② 死傷者について

平成20年中の火災による死者は20人と、前年より5人増加した。また、負傷者は48名と1名増加した。

《過去10年間の死傷者》

(単位：人)

区分	平成 11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
死者 (うち住宅*)	17 (5)	18 (6)	20 (8)	14 (7)	21 (10)	9 (8)	21 (11)	25 (15)	15 (10)	20 (16)
負傷者	52	51	45	61	45	44	52	74	47	48

※放火自殺者等は含まない。

③ 出火原因について

平成20年中の出火件数344件のうち、「こんろ」によるものが34件で最も多く、次いで「放火(放火の疑い含む)」が32件、「たばこ」が30件であった。

《主な出火原因》

(単位：件)

区分	こんろ	放火	たばこ	火入れ	ストーブ	たき火	配線器具	火遊び	マッチ・ライター	その他	合計
平成20年	34	32	30	26	20	16	13	8	8	157	344
平成19年	43	45	30	10	18	27	9	11	4	172	369
増減	▲9	▲13	0	16	2	▲11	4	▲3	4	▲15	▲25

[参考]

近年の住宅火災による死者数の急増に対処するため、平成16年6月の消防法の一部改正などにより、本県では、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されている。

- ・ 新築住宅：平成18年6月1日から(消防法により)
- ・ 既存住宅：平成20年6月1日から(市町の火災予防条例)

(2)救急の状況について

平成20年中の救急出場件数は35,432件(前年比：8件減)、搬送人員が33,450人(前年比：513人減)であった。

このことは、県内で1日平均96.8件(前年比：0.3件減)、14分52秒(前年比：2秒増)に1件の割合で救急隊が出場し、県民35人(前年比1人増)に1人が救急車で搬送されたことになる。

なお、救急出場件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、第1位がいずれも「急病」であり、以下、「一般負傷」、「交通事故」であった。

《救急の状況》

区分	出場件数 (件)	搬送人員 (人)	県内の1日平均件数 (件)	出場頻度	搬送人員割合
平成20年	35,432	33,450	96.8	14分52秒に1件	県民35人に1人
平成19年	35,440	33,963	97.1	14分50秒に1件	県民34人に1人
増減	▲8	▲513	▲0.3	2秒	1人

《事故種別出場件数》

(単位：件)

種別	急病	一般 負傷	交通 事故	労働 災害	自損 行為	加害	運動 競技	火災	水難	自然 災害	その他※	合計
平成20年	21,291	5,212	4,049	361	497	172	264	128	45	6	3,407	35,432
平成19年	21,217	5,040	4,187	404	494	179	252	106	44	27	3,490	35,440
対前年	74	172	▲138	▲43	3	▲7	12	22	1	▲21	▲83	▲8

※その他：転院搬送等

《過去10年間の出場件数、搬送人員》

単位：件（出場件数）、人（搬送人員）

区分	平成 11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
出場件数	25,684	27,331	28,373	28,992	31,172	32,544	33,675	34,216	35,440	35,432
搬送人員	25,051	26,643	27,557	27,991	29,969	31,184	32,281	32,811	33,963	33,450